

日時：平成29年2月7日

午後2時から午後3時まで

会場：瀬戸市役所 4階 庁議室

委員の参加者数：委員15名中11名参加

(欠席：小林委員・大野委員・岡崎委員・深見委員)

【議事】

1 議題

(1) 平成29年度保育所の提供体制及び利用定員の設定について

資料1に基づき説明

(委員からの意見)

○あかつきキッズランドの年齢ごとの定員の内訳はどうなっているのか。

0～2歳児を主に保育する予定であり、定員は30名となっている。
年齢ごとの内訳は把握していない。

○雪の聖母幼稚園は認定こども園になるということか。

認定こども園ではありません。幼稚園と保育園の子どもをどちらも保育することができるのが認定こども園ですが、雪の聖母幼稚園は今後も幼稚園のみである。お金の流れが従来とは変わってくる。

○雪の聖母幼稚園は私学助成がなくなるということか。

ご指摘のとおりである。施設型給付という、市を通して運営費をお支払いする方法に変わる。

○あかつきキッズランドは、収入に応じて保育料が決まるのではなく、固定の保育料なのか。

ご指摘のとおりである。国が基準としている料金を参考に、年齢ごとに定めている。

ご意見等の後、1議題(1)は承認されました。

(2) 子ども・子育て支援事業計画の修正について

資料2に基づき説明

(委員からの意見)

○第1期の子育てサポーター養成講座に参加した。一度認定を受けて、「それっきり」というのはちょっともったいないと思ったため、スキルアップ講座を検討してほしい。講座の内容としては、救命など様々な内容が4回に凝縮されていてよかった。今後も続けてほしい。

来年度は、子育てサポーター養成講座に加え、スキルアップ講座も開催する予定である。

ご意見等の後、1議題(2)は承認されました。

(3) 子育て支援の新規事業について

資料3に基づき説明

(委員からの意見)

○子育て総合支援センターの創設の内容を教えてください。

新しく施設をつくるというのではなく、機能面の創設になる。妊娠期から子育て期において切れ目のない支援を行い、関係機関でより一層連携を強化していくという体制をつくっていく。

○子育て総合支援センターの場所は市役所なのか。

新たに施設を建てるということではなく、関係窓口は市役所以外にも所々にある。複数の窓口をまわることのないよう、連携を強化させてどこの窓口でも相談できるようにしていく。

○さまざまな講座が行われているが、参加の状況をどう捉えているか。

すくすくふれあい広場の参加者数は去年度と比べて増えている。今後は参加対象を父親にも向けていくことに力を入れたい。子どもとの遊び方・関わり方を、講座を通して伝えていきたい。

○すくすく広場は自分も参加したことがあるが、とても活気があってよい。ただ、広場で開催されている講座に行きたいと自分から思える人はいいが、講座に参加してほしいとこちらが思う人は来ない。そのような方々に、講座の存在に気づいてもらえるような誘導策があればよい。

そのような方々への講座の周知方法を検討したい。

ご意見等の後、1議題(3)は承認されました。

2 その他

(委員からの意見)

○雪の聖母幼稚園が新制度へ移行することで定員が減少している。待機児童が増えているのに新制度へ移行するメリットは何か。

雪の聖母幼稚園は従来通り3～5歳児のみを受け入れる。瀬戸市は3歳以上の待機はなく、幼稚園児数は年々減少しているため十分ニーズは満たせると考える。制度移行のメリットは、運営費の支払根拠が変わるなど総合的に判断されたと思われる。

○親育ちや子育て講座の内容のニーズの吸い上げはどのように行うのか。

各講座において集計したアンケート結果だけでなく、会や子育てサロンなどの地域の集まりにお伺いしてお話を聞いたり、出前講座を行っていきたいと考えている。

○子育て支援サイトに「お問い合わせ」という項目があるが、どのようなものか。

「お問い合わせ」には各機関の連絡先が表示されますが、直接メールにてお問い合わせできるようにはなっておりせん。育児に関することなどへの質問は、保育士が毎月テーマを決めて「Q&A」形式で掲載している。

○自分が支援サイトを使うのであれば、「こんなことで困っている」と直接メールで相談できたらよいと思う。電話や窓口だと相談しづらい方もいるので。将来的にメールでも相談ができるとよい。

直接メールでのお問い合わせにつきましては、今後の課題とします。

○講座はどのような方法で定員を決めるのか。

会場の大きさやアンケート結果から決めているが、今後は各地域を回ってニーズもお聞きし、定員や会場を決めていきたい。

○講座があるのはよいが、なかなか自分から行動できないお母さんは応募することもできない。各地域を回って、講座を行うのはよいことと思う。また、以前保健師の赤ちゃん訪問に同行する児童委員から、保護者が育児に対し不安に思っていることなどを聞くことができた。児童委員に話を聞いてみてもよいと思う。

今後は、児童委員さんにもお話を聞きしていきたい。